



変化する社会の中で**自律**していく生徒の育成「みんなで100点チーム西中」

「てとてとて」

高鍋西中学校だよりNO3 令和5年6月9日 文責 黒木 倫徳



6月(梅雨)に入りました！

6月に入り、本県も梅雨入りしたとの報道がありました。本格的な雨のシーズンに入ります。



梅雨は農作物や梅雨明け後の夏季を迎えるにあたり、なくてはならないものだと思っています。しかし、同時に風水害への対策や予防をしておくことも忘れてはなりません。ここ数年は、毎年のように大規模な風水害が発生しており、予想を遥かに超える人的被害や住家被害が日本だけでなく世界各地で発生しています。

この時期(梅雨期及び台風期)は特に、河川の増水・氾濫、がけ崩れ、低い土地への浸水、高潮、高波等に十分気を付けて生活しましょう。【自分の「命」は自分で守る!!】です。

保育園との合同避難訓練を実施しました。

5月15日(月)になでしこ保育園の園児(3歳~5歳児の40人)も参加して、合同避難訓練(地震と津波を想定)を行いました。生徒は地震発生放送により、机の下に一時避難をした後、津波が押し寄せる可能性があるとして、津波避難ビルとなっている管理棟屋上へ避難しました。今回は、あくまで訓練でありましたが、「南海トラフ地震」の発生確率は非常に高くなっています。また、最近、日本各地で地震が頻繁に発生しています。いつ・どこで・どの規模の地震が発生するか予測が付きません。日ごろから防災意識を高めるとともに、減災対策や集合場所の確認など、家族で風水害も含めて話し合っておく機会をつくっていただけると幸いです。



令和5年度西中生徒総会を実施しました。

5月26日(金)生徒総会が行われました。4年ぶりに全校生徒が参集した対面での開催ということで、生徒全員緊張した様子でした。また、3年生の生徒会役員の方々は、直前に修学旅行があり、準備も大変でした。

今年の全校討議のテーマは「全員が自主的に行動できるようになる具体策は」についてでした。各学級から積極的な意見が次々に出され、真剣な討議が行われました。



「明倫堂の教え」について学びました。

5月18日（木）に「明倫堂の教え」から学んだ精神を大切に、ふるさと高鍋を愛し、誇りを持って、社会に貢献できる人材となる。ことをねらいとして、高鍋町教育委員会社会教育課の職員を講師に迎え、藩校明倫堂の建学の精神を学びました。これからの生活にしっかり生かしていきたいと考えています。



【明倫の教え講話の感想(抜粋)です】

- 明倫堂の教えは「人づくり」「心そだて」にすごく大事だということです。今からの人生に自分がどうやって育っていくのかは、今の自分しだいだと思います。人としての正しい生き方は、明倫堂の教えを生活の中で生かしていくからこそ成り立つと心から思いました。（1年：女子）
- 「明倫堂とは？」から「なぜ、いま明倫堂の教えなのか」まで詳しく知ることができました。明倫堂の教えの中の特に、信頼、礼儀、思いやりを持つことに自分自身で意識を高め、これからの行事などに生かしていけたらと思いました。（1年：女子）
- 私は、まだ「明倫堂の教え」の一つ一つの意味を理解していないので、ちゃんと理解して読めるように頑張りたいです。また、「人づくり」「心そだて」の中心になり世界や未来を担っていけるように頑張りたいです。「明倫堂の教え」をしっかり実践していけるように頑張ります。（3年：男子）

東・西中合同の鑑賞教室を実施しました。

5月19日（金）の午後からたかしんホールに移動して、おそらく4年ぶりであろう鑑賞教室を東中学校と合同で実施しました。今回は、昨年度より依頼をしておりました「劇団道化」（代表：西村健治氏、福岡県）という劇団による「知覧・青春～アイ・アム・ヒア！」という戦時中に青春を過ごさざるを得なかった男女の淡い恋心にも触れた内容でした。

私たちが経験していない戦争中のお話でしたが、世界に目を向けると戦争・紛争が実際に起きている地域がある中で、子どもたちはどんなことを考えながら鑑賞してくれたかが気になりました。それにしても劇の中でゲスト出演してくれた3年生の男子生徒と寺田先生、浮島先生の演技力にはとても驚きました。素晴らしかったですね！

【生徒の感想(抜粋)です】

- 今回の演劇で一番印象に残ったことは、京子ちゃんとよしひこさんが会える最後のシーンです。なぜなら戦争によって引き裂かれた2人がまた会うことができたからです。（2年：女子）
 - 今回の演劇を見て、大事な人がいなくなるというのはとても悲しくて、忘れられないものなんだと思いました。（3年：女子）
- ☆ やはり“ほんもの”を見たり聞いたりすることはとても大事ですね！



